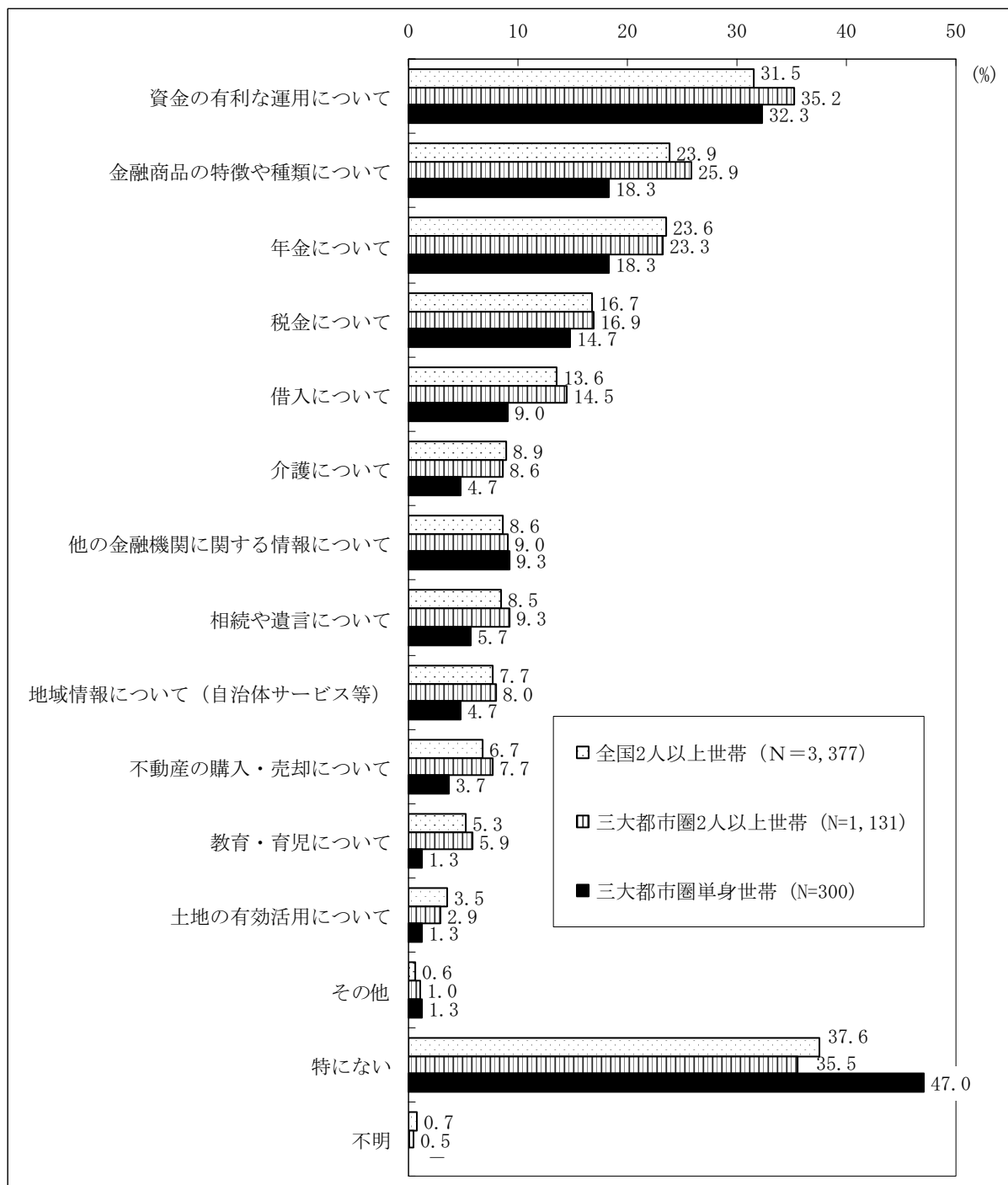


1-7 金融機関から教えてほしい情報

○ 金融機関から教えてほしい情報（問3-1 複数回答）

金融機関から教えてほしい情報として、全国2人以上世帯では、「資金の有利な運用について」（31.5%）の回答比率が高く、以下、「金融商品の特徴や種類について」（23.9%）、「年金について」（23.6%）、「税金について」（16.7%）、「借入について」（13.6%）の順となっている。また、「特にない」（37.6%）が4割弱となっている。

単身世帯は、三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較すると、「他の金融機関に関する情報について」を除くすべての項目で回答比率が低く、「特にない」（47.0%）が11.5ポイント高くなっている。



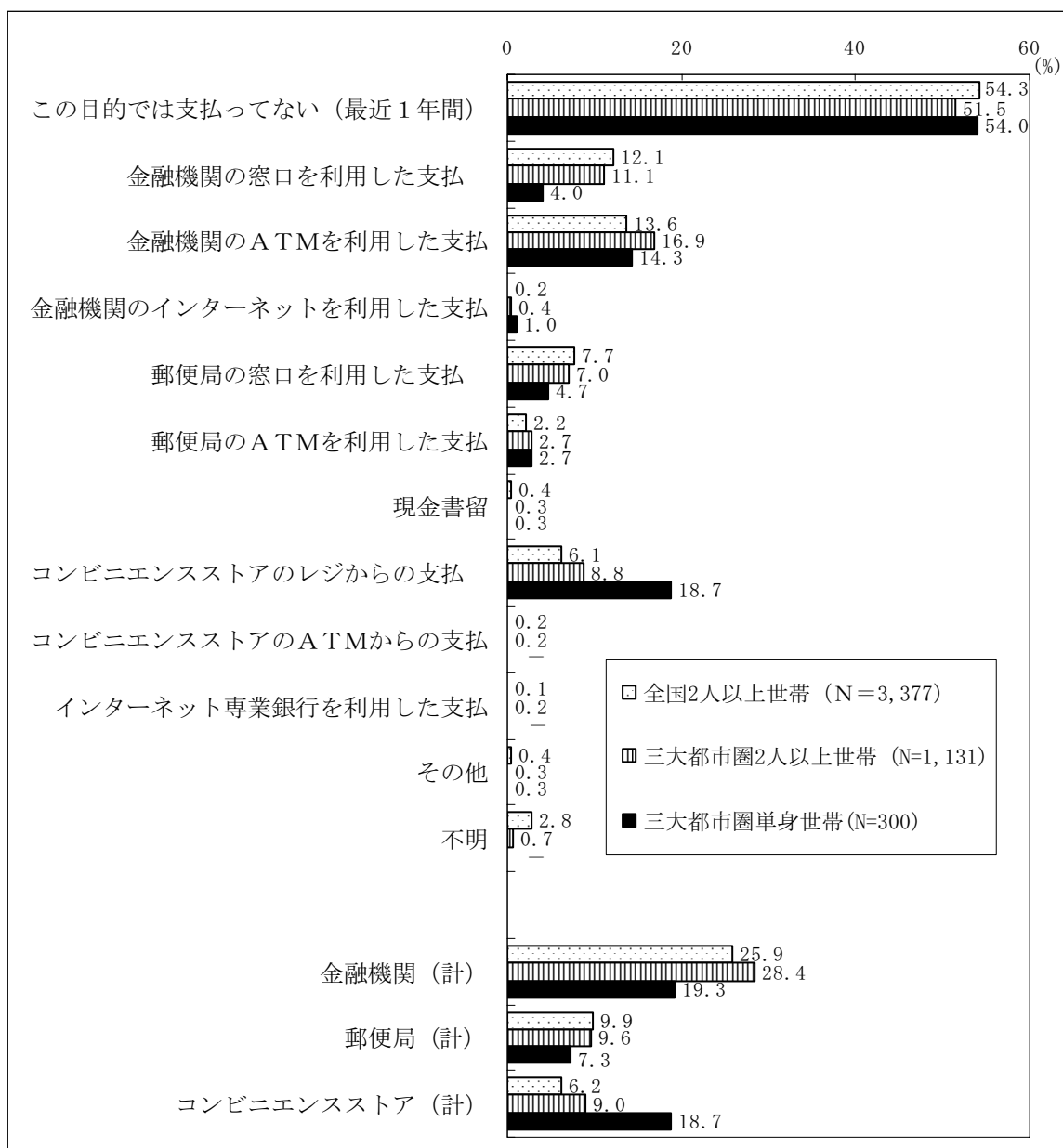
1-8 料金の支払い方法

(1) 「定期的な支払」で最も多く利用した送金手段(問7-1(1))

最近1年間に「定期的な支払(公共料金等。口座からの自動引落を除く)」で最も多く利用した送金手段としては、全国2人以上世帯では、「金融機関(問7では郵便局、インターネット專業銀行を除く)のATMを利用した支払」(13.6%)、「金融機関の窓口を利用した支払」(12.1%)の回答比率が高い。以下、「郵便局の窓口を利用した支払」(7.7%)、「コンビニエンスストアのレジからの支払」(6.1%)の順となっている。また、「この目的で支払ってない」が54.3%となっている。

利用機関別では、「金融機関(計)」(25.9%)の回答比率が高く、以下、「郵便局(計)」(9.9%)、「コンビニエンスストア(計)」(6.2%)となっている。

単身世帯は、三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較すると、利用機関別では「コンビニエンスストア(計)」(18.7%)の回答比率が9.7ポイント高くなっている。



(※ 問7でいう「金融機関」には、郵便局、インターネット專業銀行を含まない。)

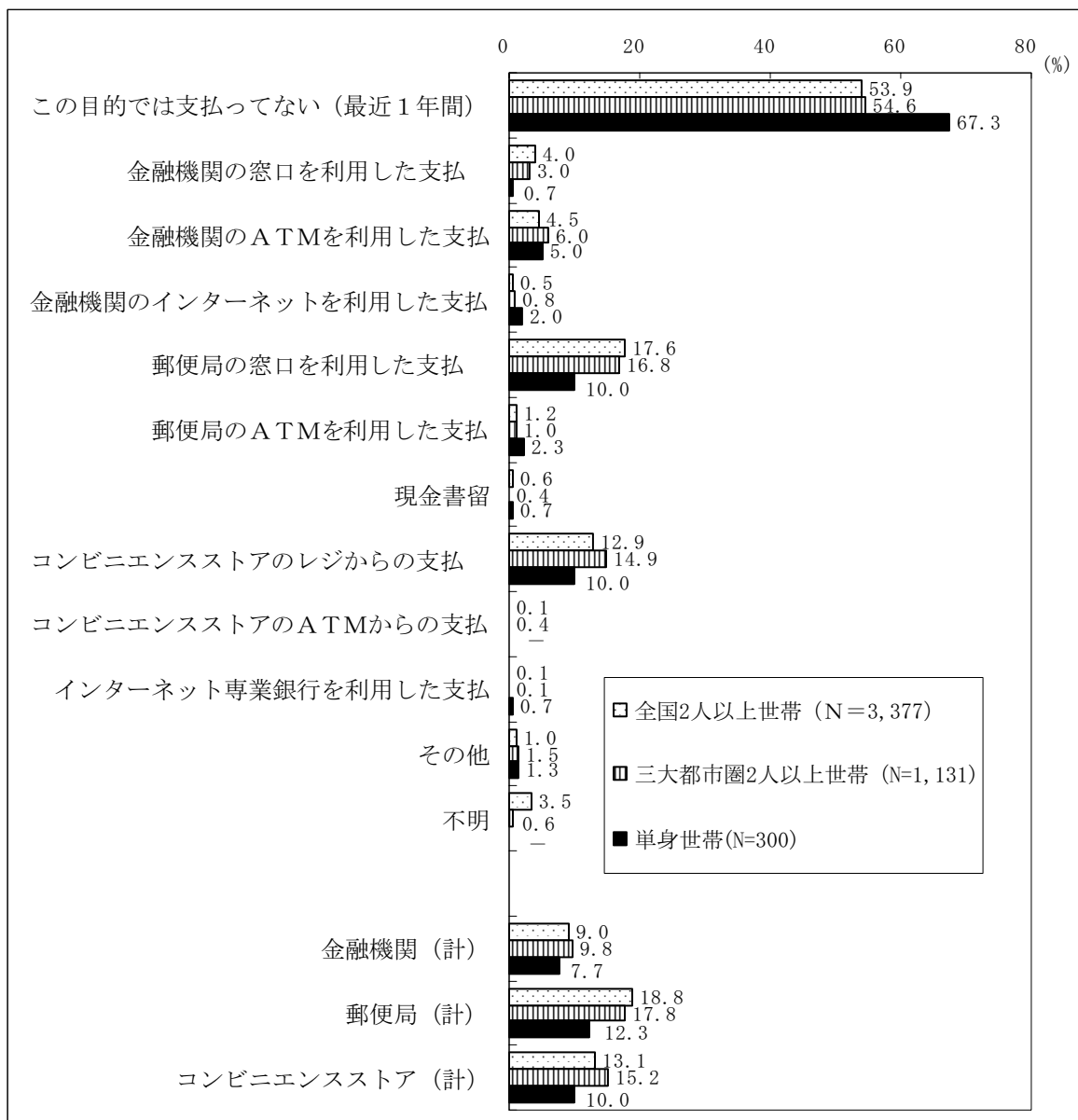
(2) 「通信販売の代金支払」で最も多く利用した送金手段（問7-1(2)）

最近1年間に「通信販売の代金支払（インターネット・ショッピングを含む）」で最も多く利用した送金手段としては、「郵便局の窓口を利用した支払」（17.6%）の回答比率が最も高く、以下、「コンビニエンスストアのレジからの支払」（12.9%）、「金融機関のATMを利用した支払」（4.5%）、「金融機関の窓口を利用した支払」（4.0%）の順となっている。また、「この目的で支払っていない」が53.9%となっている。

利用機関別では、「郵便局（計）」（18.8%）の回答比率が最も高く、以下、「コンビニエンスストア（計）」（13.1%）、「金融機関（計）」（9.0%）となっている。

単身世帯は、三大都市圏2人以上世帯の調査結果と比較すると、「この目的で支払っていない」（67.3%）が12.7ポイント高くなっている。

「1-8(1)定期的な支払」と比べて郵便局の利用が多いのは、通信販売の業者が支払方法を指定する可能性があることの影響と考えられる。

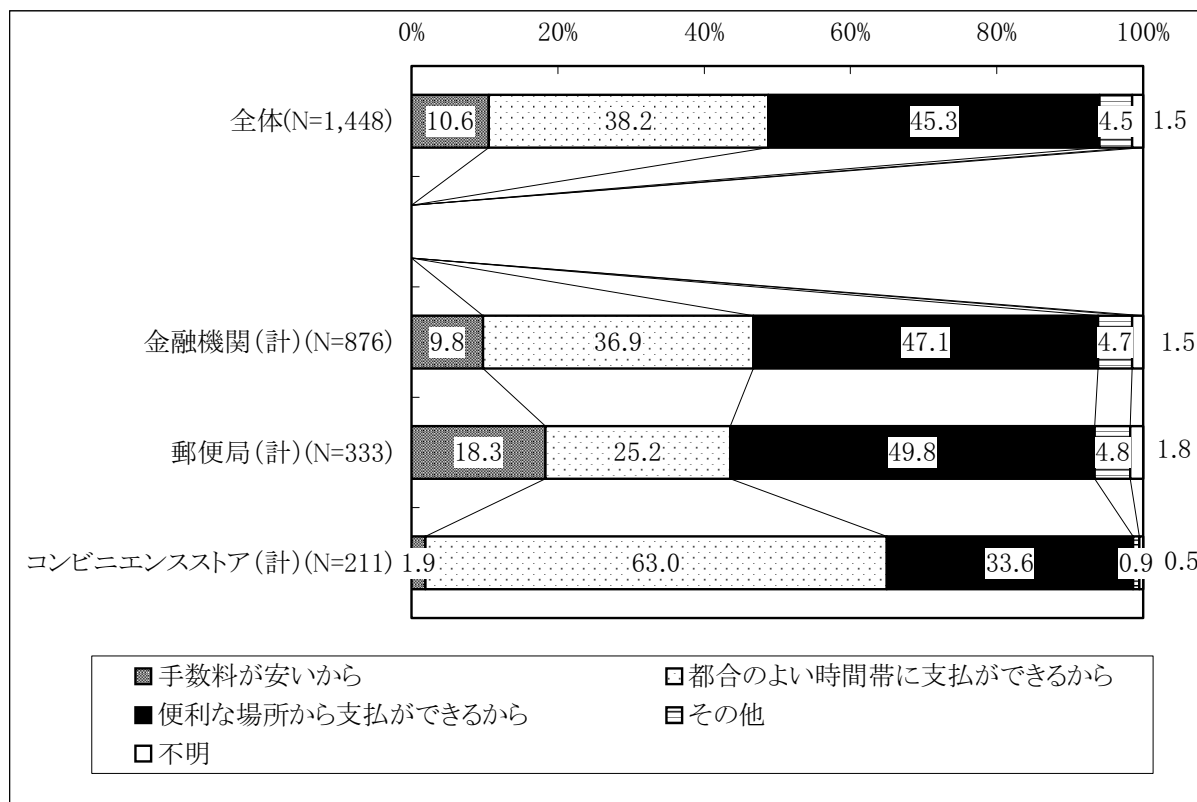


(※ 問7でいう「金融機関」には、郵便局、インターネット専業銀行を含まない。)

(3) 「定期的な支払」で最も多く利用した送金手段の選択理由（問7-2(1)）

「1-8(1) 定期的な支払で最も多く利用した送金手段」を選んだ理由としては、全国2人以上世帯では、「便利な場所から支払いができるから」(45.3%)の回答比率が高く、以下、「都合のよい時間帯に支払いができるから」(38.2%)、「手数料が安いから」(10.6%)の順となっている。

利用した金融機関別にその選択理由を分析すると、コンビニエンスストアを利用した世帯では「都合のよい時間帯に支払いができるから」(63.0%)の回答比率が高く、郵便局(25.2%)は低くなっている。



(※ 問7でいう「金融機関」には、郵便局、インターネット専門銀行を含まない。)